

光市医師会報

平成18年12月号

No.392

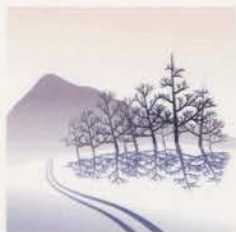


光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

12月の医師会長

- 12月 1日(金) 症例検討会 (周南記念病院)
 12月 4日(月) 室積保育園健康診断
 12月 5日(火) 平生看護専門学校講義
 12月 7日(木) 郡市医師会長会議 (山口県医師会)
 12月12日(火) 平生看護専門学校講義
 理事会 (事務局)
 12月13日(水) 講演会 (商工会館)
 12月14日(木) 医師会忘年会 (松原屋)
 12月19日(火) 平生看護専門学校講義
 12月21日(木) 保険指導 (周南文化会館)
 介護認定審査会 (あいぱーく)
 12月22日(金) 介護支援専門員交流会 (光井倶楽部)



12月の医師会活動

- I. 12(火) 12月・定例理事会 (医師会事務所)
 II. 13(水) 学術講演会&月例会 (商工会館2F)
 III. 14(木) 医師会忘年会 (ホテル松原屋)

I. 定例理事会

日時:平成18年12月12日(火)午後7時30分より

場所:医師会事務局

議題:

I. 報告事項

1. 都市医師会広報担当理事協議会(11/9) (道上理事)
 2. AED講習会(11/11) (丸岩理事)
 3・光市地域包括支援センター運営協議会(11/30) (河村会長)
 4. 第2回光市国民保護協議会(11/30) (松村副会長)
 5. 郡市医師会長会議(12/7) (河村会長)

II. 協議・承認事項

1. 園医の集いについて (丸岩理事)
 2. 会計報告(4月~11月) (松村副会長)

資料① 1. 都市医師会広報担当理事協議会(11/9)

日時 平成18年11月9日(木)15:00~17:00

場所 山口県医師会 6F会議室

- 1 他県医師会の広報活動について →資料1
 2 会報月一回発行による県医師会報の評価について →資料2
 →各都市理事に質問、おおむねよいとのこと
 3 新しい特集等、シリーズものの案について→資料3
 →大学からアカデミックなものを出して貰えないかの問いに、松崎院長OK
 →医療訴訟コーナーなどどうか
 4 対外広報の取り組みについて
 5 その他

■あれも載せたら、これも載せたらと、医師会報が完璧なものとなるような話になってきたが、素早い情報はFAXとかインターネットで各自が調べればいいし、医師会報はユニークなものにしたらとの意見もあった。

資料② 4. 第2回光市国民保護協議会(11/30)

日時:平成18年11月30日13時30分~

場所:光市役所 大会議室

「国民保護法」(武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律:

平成16年9月17日成立)に基づいて、各自治体が具体的な国民保護計画を作成するために設置。

議題

- (1) 光市国民保護計画(案)の光市からの説明、関係機関との審議、答申:
武力攻撃事態及び緊急対処事態を対象とした計画内容。
関係機関16(指定公共機関、医療機関、その他防災に関連する機関等)出席
光市医師会は、災害時の医療救護活動に関する協定
- (2) 今後のスケジュール:
今年中に県と正式協議し、来年3月に光市議会で完成報告予定。

資料③ 5. 都市医師会長会議(12/7)

日時:平成18年12月7日(木) 15時

場所:県医師会館

- 1、中央情勢報告
 - ① 生活習慣病対策
地域保険と職域保険の連係(地域・職域連係協議会)
 - ② 療養病床
様子をみること(日医) 変更は自己責任
有床診の療養病床 減額-10%
 - ③ 医療区分1の問題
 - ④ 医師確保対策
- 2、勤務医の入会促進
 - ① 年会費 33,000 → 27,000へ
 - ② 入会金の免除を
- 3、医師確保について
情報の収集
- 4、県医師会新規(平成19年度)事業要望
- 5、女性医師参画推進部会について
- 6、学校敷地内禁煙対策について
- 7、医療関係団体新年互礼会
- 8、都市医師会から
(下松)IT化は医療機関の負担のないように

II.

学術講演会&月例会 【特別講演1】

「光総合病院消化器内科の現状について」

光市立光総合病院 消化器内科

部長 谷川幸治 先生



日時:平成18年12月13日(水)19:15~

場所:光商工会館2階 大会議室

光市立光総合病院消化器内科スタッフ

常勤 得意分野

- ・谷川幸治 : 肝臓
- ・矢川智仁 : 食道

非常勤

- ・岩本早耶香 : 胆膵
- ・佐竹真明 : 胃

山口大学消化器病態内科学(第一内科) 専門研修プログラム

目標

腹部疾患の全てを診ることができる“総合消化器内科医”の育成

特徴

- ・大学病院ならではの、各専門分野の多数のエキスパート(指導医)による指導
- ・多彩・豊富な症例によるトレーニング
- ・治療内視鏡を含めた内視鏡技術の習得
- ・短期間での専門医と学位の習得

光市立光総合病院消化器内科実績 (平成18年4月1日~11月30日)

上部消化管

上部消化管内視鏡検査	924例
上部消化管X線検査(胃透視)	173例
小腸造影検査	6例
内視鏡的食道静脈瘤硬化(EIS)and/or結紮療法(EVL)	7例
内視鏡的胃粘膜切除術(EMR)	4例

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)適応症例4例は 山口大学附属病院へ紹介

光市立光総合病院消化器内科実績 (平成18年4月1日~11月30日)

下部消化管

大腸内視鏡検査	354例
下部消化管X線検査(注腸造影検査)	36例
内視鏡的大腸ポリープ切除術	74例

光市立光総合病院消化器内科実績 (平成18年4月1日～11月30日)

肝臓

腹部超音波検査	596例
腹部血管造影検査	12例
エコー下肝生検	7例
経皮的エタノール局注療法(PEIT)	4例

当院でインターフェロン療法中の患者数

(平成18年4月1日～11月30日に投与終了した患者を含む)

PEGインターフェロン-リバビリン併用療法	23例
インターフェロンβ少量長期療法	1例

光市立光総合病院消化器内科実績 (平成18年4月1日～11月30日)

胆膵

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)	37例
内視鏡的乳頭切開術(EST)	29例
経皮経肝胆管ドレナージ術(PTCD)	2例
経皮経肝胆嚢穿刺吸引術(PTGBA)	8例
胆管ステント留置術	5例



II. 学術講演会&月例会 【特別講演2】

「肝疾患最近の話題

—山口県の肝炎と最新の肝再生医療—



山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学

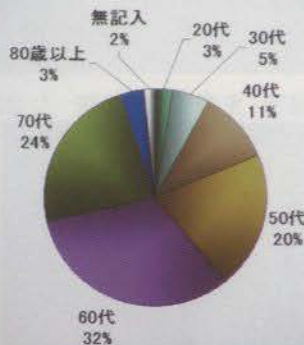
教授 坂井田功 先生



日時:平成18年12月13日(水)19:30～

場所:光商工会館2階 大会議室

全国市民公開講座参加者内訳 n=6,995

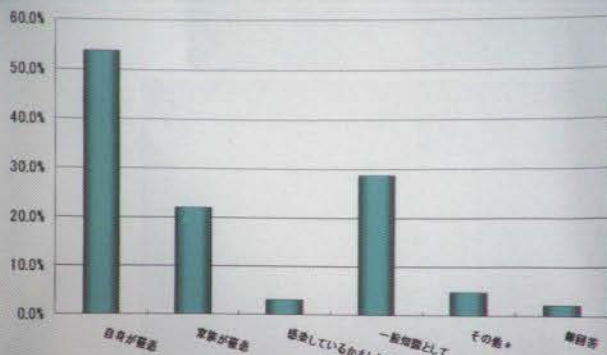


光市民公開講座参加者内訳 n=50

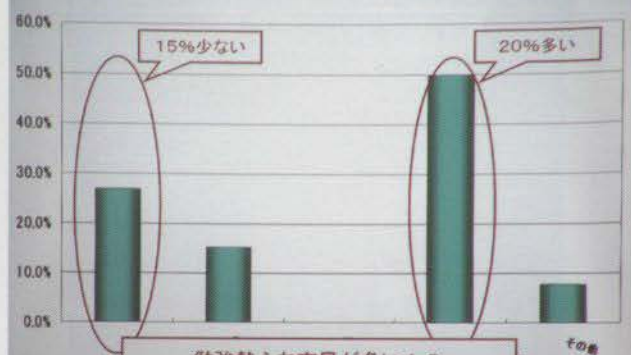


参加者年齢構成に差はありませんでした

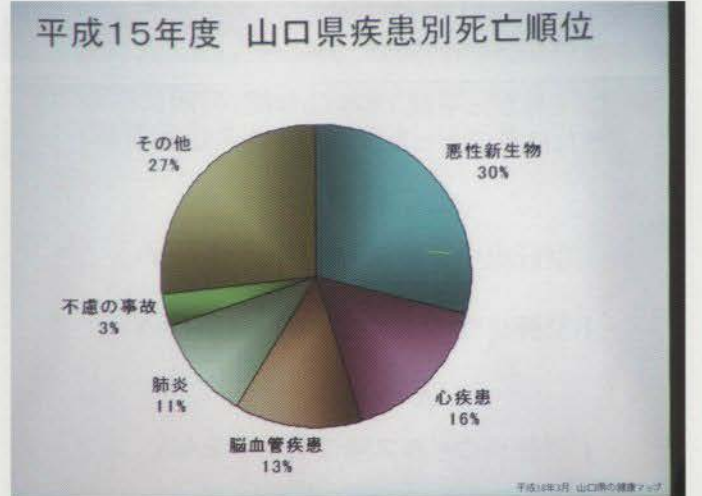
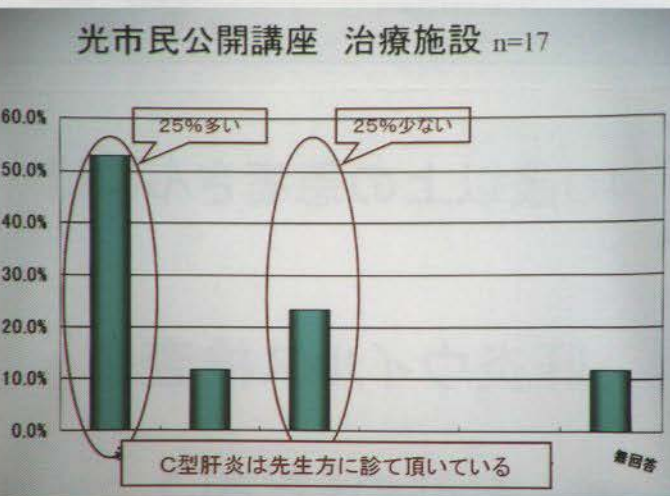
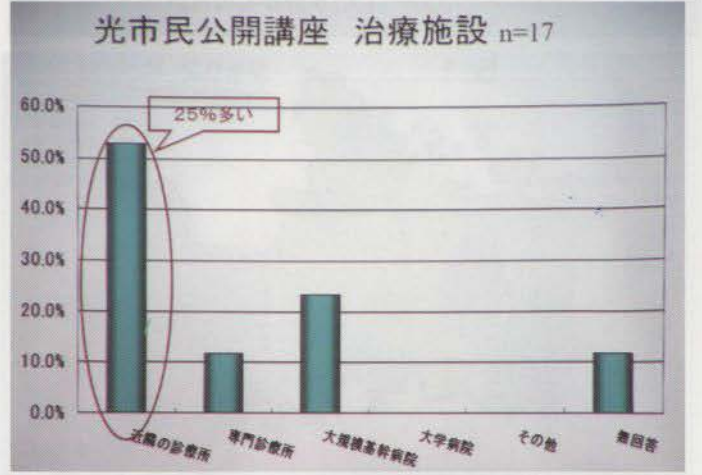
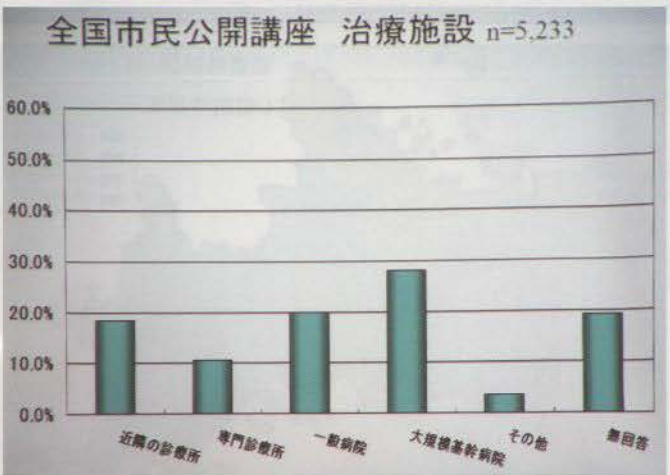
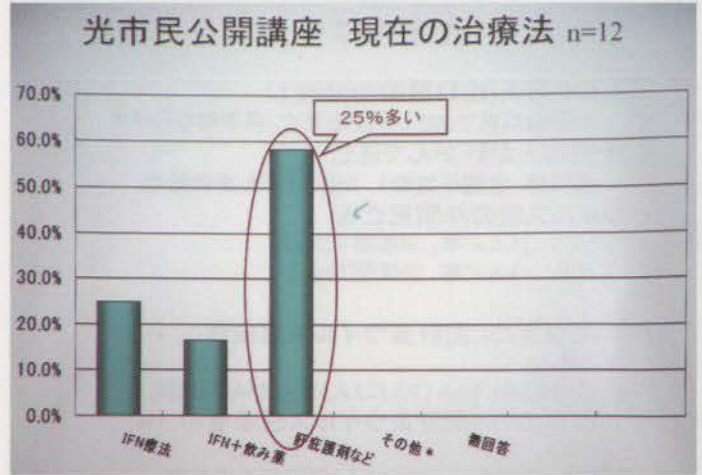
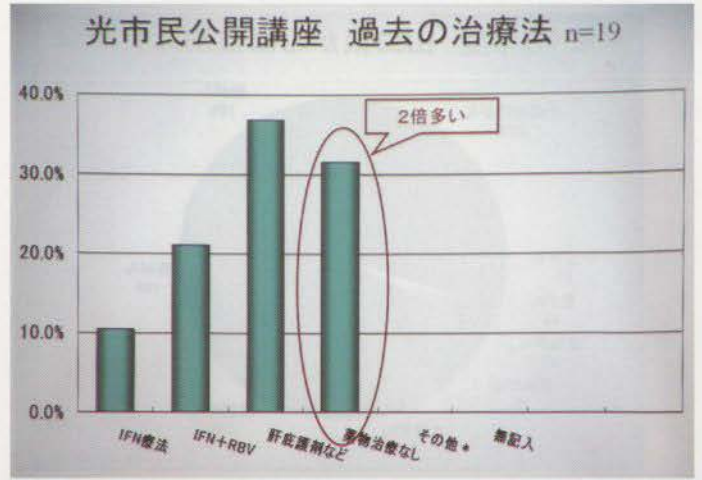
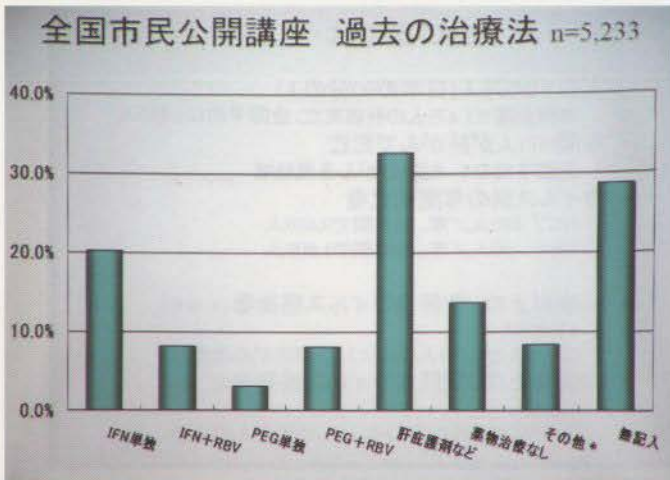
全国市民公開講座 来場理由 n=6,995



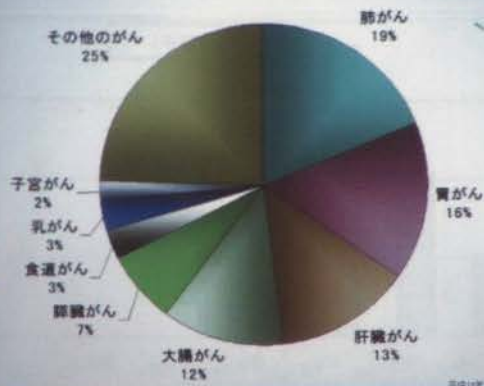
光市民公開講座 来場理由 n=50



勉強熱心な市民が多い!?



平成15年度 山口県がん部位別死亡順位

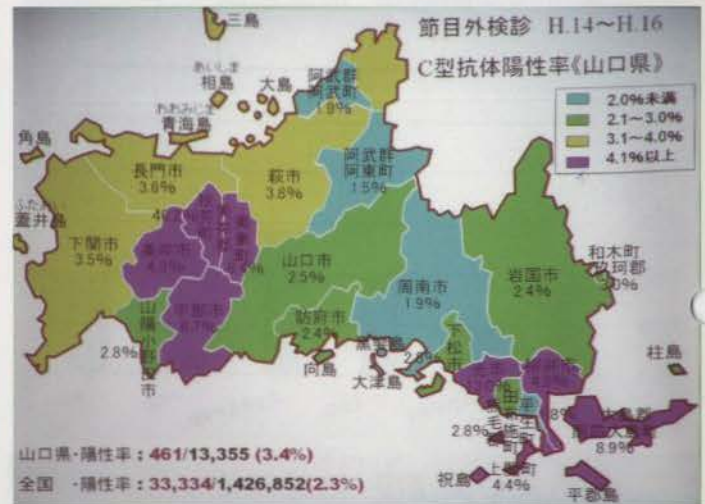
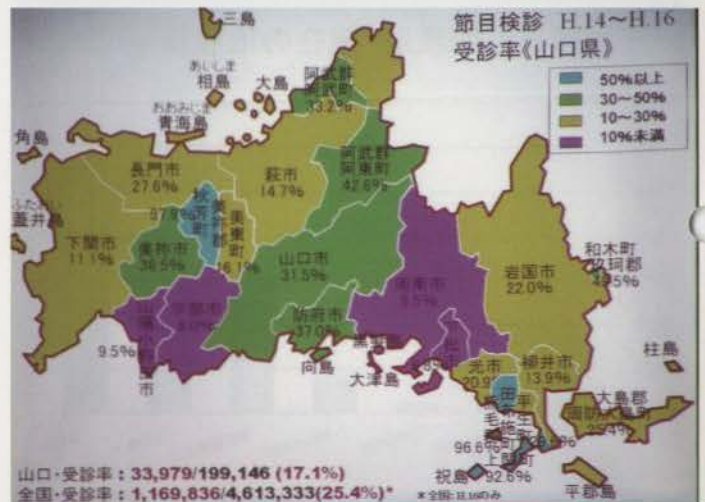


山口県では・・・

- 人口150万人(日本の90分の1)
 - 年間全国で3.4万人の肝臓死亡: 全国平均なら380人
- 年間600人が肝がんで死亡
 - 全国平均の1.6倍: 肝がん多発地域
- ウイルス別の年間死亡者
 - HCV: 480人/年、20年間で9,600人
 - HBV: 90人/年、20年間で1,800人
- 40歳以上のC型肝炎ウイルス感染者(1.4%)
 - 12,500人
 - このうちの9,600人(4人に3人)が肝がんの危険
- 40歳以上のB型肝炎ウイルス感染者(0.9%)
 - 8,000人
 - このうちの1,800人(4人に1人)が肝がんの危険

光市では・・・

- 人口5万人(山口県の30分の1)
 - 年間山口県で600人の肝臓死亡: 県平均なら18人
- 年間18人が肝がんで死亡
 - 県同様、全国平均の1.6倍: 肝がん多発地域
- ウイルス別の年間死亡者
 - HCV: 14人/年、20年間で280人
 - HBV: 3人/年、20年間で60人
- 40歳以上のC型肝炎ウイルス感染者(1.1%)
 - 350人
 - このうちの280人(4人に3人)が肝がんの危険
- 40歳以上のB型肝炎ウイルス感染者(0.7%)
 - 224人
 - このうちの60人(4人に1人)が肝がんの危険



平成14年から平成16年(3年間)の節目検診で新たに見つかった肝炎ウイルス感染者数

山口県では・・・

- C型肝炎ウイルス陽性者・・・477人
- B型肝炎ウイルス陽性者・・・306人

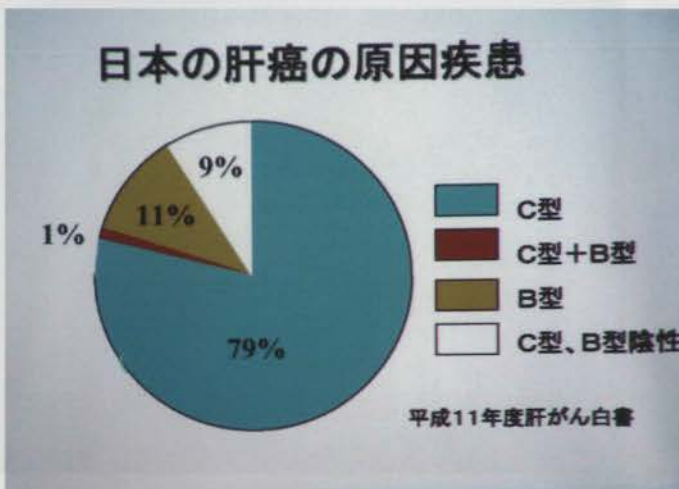
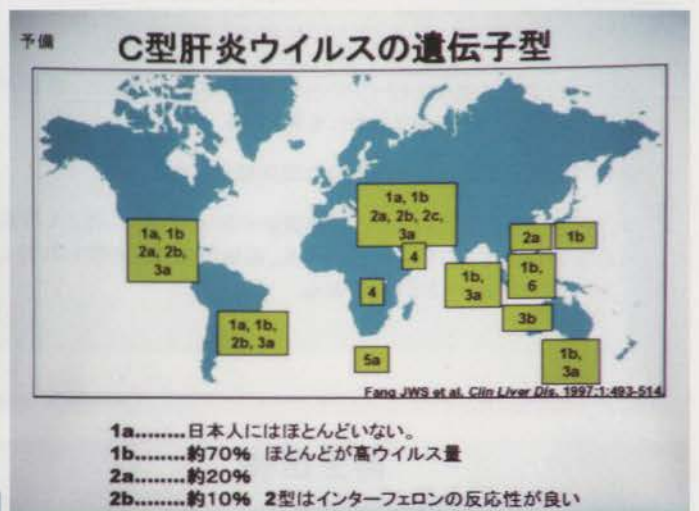
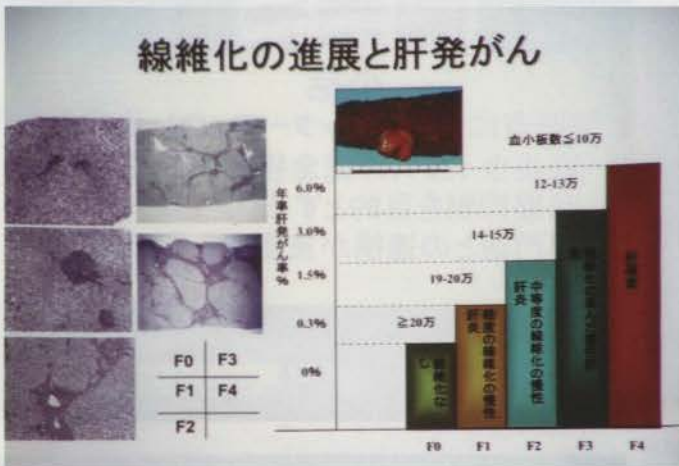
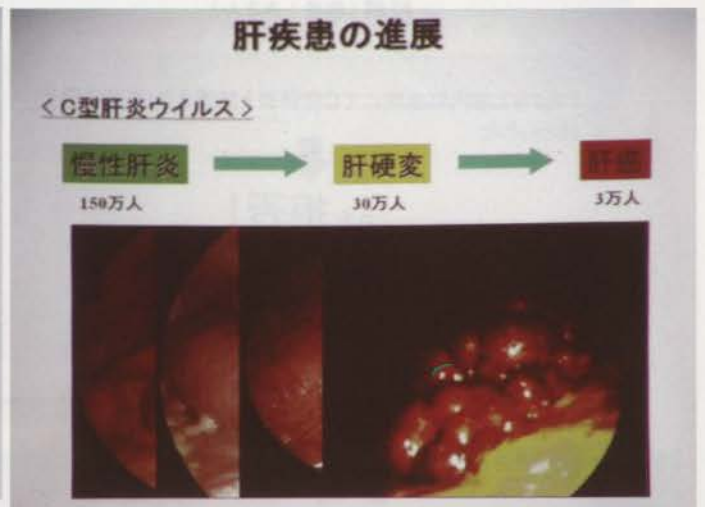
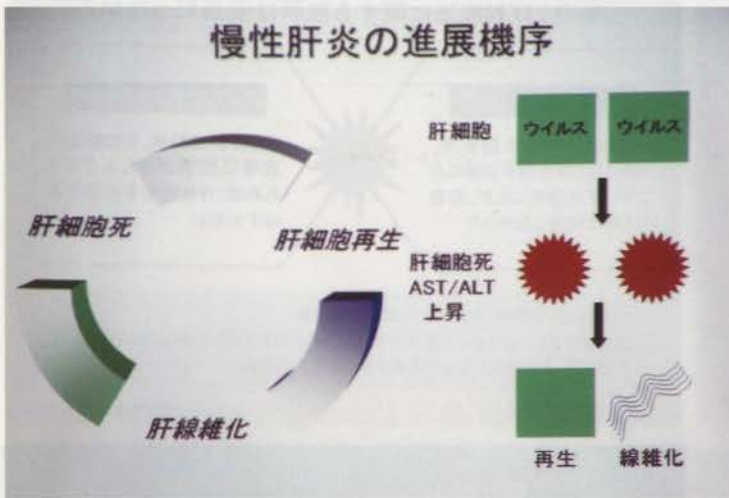
光市では・・・

- C型肝炎ウイルス陽性者・・・24人
- B型肝炎ウイルス陽性者・・・16人

40歳以上の患者さんには

肝炎ウイルス検査を

お勧めください



平成17年度C型慢性肝炎の治療ガイドライン再投与

再投与	遺伝子型 (1a/1b)	遺伝子型(2a/2b)
高ウイルス量 1 Meq/mL 100 KIU/mL 300fmol/L以上	Peg-IFN α 2b : Peg-Intron + Ribavirin (48週間)	
低ウイルス量 1 Meq/mL 100 KIU/mL 300fmol/L未満		Peg-IFN α 2b : Peg-Intron + Ribavirin (24週間)

血清ALT正常C型肝炎例への抗ウイルス治療ガイドライン

血小板	ALT	血清ALT値	治療方針
≥15×10 ⁴ /μl	ALT ≤30 IU/l	2~4ヶ月毎に血清ALT値の測定	線維化進展例がかなり存在することから可能なら肝生検を施行しF2A2以上は、抗ウイルス療法を考慮。 肝生検未施行例は、2~4ヶ月に血清ALT値を測定し異常値を呈した時点で抗ウイルス療法を考慮。
		ALT値の異常値を呈した時点で完治の可能性・発癌リスクを評価し抗ウイルス療法を考慮。	
≥15×10 ⁴ /μl	30~40 IU/l	65歳以下は、抗ウイルス療法の適用	慢性肝炎治療に準ずる。

遺伝子型、ウイルス型、年齢などを考慮し通常のC型慢性肝炎治療に準じて治療法を選択する。
 また、ウイルス排除の可能性が高く、副作用の要因が軽度な場合には通常の慢性肝炎と同様の基準で投与する。

要 点

インターフェロン療法を拒否し肝癌で死亡した患者の遺族が医師を訴えた裁判で、2,800万円もの慰謝料を命じる判決が下された。
 「十分な説明があれば治療に同意したはず」との遺族の主張が通った形だ。

経緯(患者:Aさん)

1992年にB内科医院にてC型肝炎と診断され、IFN治療を勧められた

これを **拒否!**

2001年、他医により末期の肝細胞癌と診断

2002年6月23日、死亡(享年65歳)

Nikkei Medical 2006年11月9日、P.30-31

〈争点〉IFN療法に関する説明は妥当だったか?

被告医師側の主張

IFN療法の内容や副作用、入院による肝生検が必要な点については説明したが、患者は治療に同意しなかった

患者(遺族)側の主張

C型肝炎の特徴、IFN療法の意味の説明がきちんとなされれば、IFN療法を拒否するはずがない


- IFN療法を実施しなかったことの過失の有無
- IFN療法を行わなかった場合の予後については具体的な説明がなされたか
- 肝癌の早期発見のための検査を怠った過失の有無

Nikkei Medical 2006年11月9日、P.30-31

ま と め

- 肝炎の治療を漫然と行っていた結果、肝癌に至り死亡、医師が訴えられるという事例はほかにも見られる。
- 説明義務が問われる医療訴訟は増加傾向にある。
- 治療法の自己選択のための情報提供が足りなければ、たとえ患者が治療を拒否したケースであっても、損害賠償責任を問われ得るということを知っておくべきである。


Nikkei Medical 2006年11月9日、P.30-31



小括

C型肝炎におけるインターフェロン治療の目的

- 1 肝炎ウイルスの完全排除を目的とする。
- 2 発癌抑制を目的とする(ウイルス陽性)。
- 3 専門医との連携が重要である。



再生医療

大分類	移植を伴う再生医療		移植を伴わない再生医療		
小分類	細胞治療	バイオ人工臓器・組織移植治療	再生組織・臓器の移植治療	再生組織・臓器移植治療	バイオ人工臓器(体外)治療
(方法)	細胞の移植	細胞・組織を組み合わせた埋め込み型人工臓器	幹細胞から分化誘導した組織・臓器	遺伝子成長因子(足場材料)による体内での再生誘導	細胞を含む体外循環型人工臓器
具体例	造血幹細胞・間葉系幹細胞などの移植、遺伝子導入細胞移植	ハイブリッド人工皮膚・軟骨・骨・人工臓器	造血幹細胞、胚性幹細胞から分化誘導した組織・臓器	分化増強因子(HGF, VEGF)の発現、足場材料の使用	ハイブリッド人工臓器

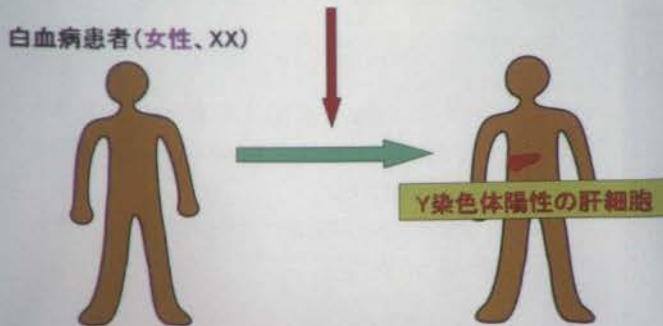
骨髄細胞の肝細胞への分化

骨髄細胞は肝細胞に分化する

自己骨髄細胞を用いた肝臓再生療法の開発は可能ではないか?

骨髄細胞の肝細胞への分化

男性患者(XY)のドナーからの骨髄移植



Theise ND et al. Hepatology 32:11-6,2000

骨髄細胞の肝細胞への分化過程



骨髄 血球系幹細胞 間葉系幹細胞

→ 間葉系幹細胞 → 肝細胞

小括

肝硬変になったマウスの骨髄細胞を体の外に取り出して、末梢血管(点滴)から体の中に戻してやると、肝硬変になった肝臓の中に入ってきて、線維を溶かしその場を自分のすみかとして、自分自身(骨髄細胞)は肝細胞に変化して、体に必要なアルブミンを作り出し、肝硬変が良くなって、マウスは長生きした。

自己骨髄細胞投与療法(臨床)

適応: 非代償性肝硬変症

Age<75, TB<3.0mg/dL, Platelet>50,000X10¹⁰/L

肝細胞癌合併例では治療でコントロール良好例
心肺機能に問題のない症例

•400ml of BMCs •Wash and filtration
•7.4×10⁷ in 110ml •Viability: >90%
•Autologous transplantation through peripheral vein

Mice (35-40g); 1 X 10⁵ ⇒ Human (50kg); 1.25 X 10⁸ に相当



自己骨髄細胞投与治療の実際



要約(臨床)

1. 非代償性肝硬変患者16人に自己骨髄細胞投与療法を行なった。
2. 問題となるような副作用は認められなかった。
3. ほぼ全例で血清アルブミン値と線維化マーカーPIIIPの減少が認められた。

問題と今後の課題

1. 効果の持続期間?
2. 分割頻回投与(冷凍保存の必要性)
3. 体外で骨髄細胞を増加させる因子と方法の開発

Ⅲ.

光市医師会忘年会

日時:平成17年12月14日(木)19:00~

場所:ホテル松原屋





連絡事項

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
12	4	山医発548	第43回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座の受講者募集について
		事務連絡	「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催について
		山医発550	乳児健康診査、妊婦健康診査等に係る参考単価について
		徳山医師会	徳山医師会産業医実地研修会のご案内
	5	山口県医師会	医療機器（インスリンペン型注入器用注射針）の自主回収について
	8	山医発554	「レベルB1～B2における保健所行動計画」の送付について
		山医発556	平成18年度「在宅医研修会」の受講申込について
		山口県医師会	「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」について
	11	山医発559	交通事故医療に関する未解決事例の報告について
		山医発558	第27回日本医学会総会における日本医師会認定産業医制度産業医学研修単位ならびに認定スポーツ医制度再検単位について
		山医発533	県内医療機関における医師の確保について
		山口県医師会	被保険者証への2次元コード装着に対するパブリックコメント募集について
	12	山医発564	診療所における肝炎診療実態調査について
		山口県医師会	掲示事項等告示の一部改正について
		山口県医師会	「手術の通則の5及び6に掲げる手術」の施設基準の届出に係る取扱について
		山口県医師会	自ら治験を実施する者による治験により収集された資料に基づき承認申請が行われた新医薬品の承認申請資料適合性書面調査の留意事項について
	14	山医発567	学校伝染病第3種「その他の伝染病」の運用の改正について
		山医発572	「介護保険制度下での介護サービスの対価に係る医療費控除の取扱に係る留意点について」の一部改正について
		山医発566	顕彰の会報掲載について
		山医発568	がん検診精密検査機関申出の更新について
		山医発570	平成18年度学校保健功労者の表彰について
	18	山医発577	日本医師会生涯教育制度「認定証」送付について
		山医発580	第27回日本医学会総会における日本医師会認定産業医制度産業医学研修単位ならびに認定スポーツ医制度再研修単位取得の申請手続きについて
		山医発584	乾燥組織培養不活性狂犬病ワクチンについて
		山医発586	学校敷地内禁煙の実施に関する要望について
		山医発587	インフルエンザに係る積極的疫病学調査の実施について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価等の一部改正について
	19	山医発573	介護保険制度下での居宅サービス等及び指定介護老人福祉施設の施設サービス等の対価に係る医療費控除の取扱について
		山医発590	平成18年度母子保健講習会の開催について
		山医発594	母子保健事業委託委任名簿の更新について
		山口県医師会	2006年度ケアマネタイムアンケート結果の送付について
	22	山医発597	インフルエンザワクチンの安定供給について
		山医発595	自殺対策基本法の施行について
		山医発589	医療貸付事業の融資対象者に対する個別融資相談会の開催について
		山医発598	抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について
		山口県医師会	山口県歯科医師会主催の県民公開講座について
	25	山口県医師会	ノロウイルスを始めとする院内感染防止対策の徹底について
		山医発600	山口県医師会役員の補欠選挙について
		山医発605	平成18年度学校医講習会の開催について
	26	山口県医師会	「平成18年度山口県介護保険研究大会」資料頒布について
		山口県医師会	「リツキサン注」の使用上の注意の改訂について



12月休日当番医報告

	内科系	外科系
12/ 3(日)	24	6
10(日)	19	8
17(日)	31	5
23(土)	22	7
24(日)	34	8
31(日)	60	8
計	190	42

あ と が き

今年も暮れようとしています。一年をふり返って、頭の中には何が去来しているのでしょうか。相も変わらず、マスコミの医療界へのバッシングの中、医療費抑制のお達しの中、医療崩壊が起こり始めています。国民は生まれるのも、生きていくのも、死んでいくときも、簡単には医療を受けられない時代になっていくのでしょうか。来年の光を信じつつ・・・賑やかになった紅白歌合戦でもみるとしましょう

発行所 光医師会
TEL(0833) 72-2234
発行日 平成18年 12月31日
発行者 河村康明
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社